

卓 球 競 技 要 項

令和7年度

1 【期 日・時 間】

- (1) 第1日 5月24日（土） 9：00～ （開始式 8：50～）
(2) 第2日 5月25日（日） 9：00～

2 【会 場】

県民体育館（主競技場）

3 【種 目】

男女とも学校対抗、シングルス、ダブルス。

4 【競技規定】

全国IHに準じ、日本卓球協会規則による。

5 【競技方法】

(1) 学校対抗の部

- ①選手は4名～7名とし、補欠は認めない。
②勝敗は4名～6名による1ダブルス4シングルの5試合3点先取で決定する。

1	2	3	4	5
S	S	D	S	S

* S 1・2番の選手だけでDを組めない

- ③試合は3～4チームのグループに分け予選リーグを行い、決勝トーナメント戦を行う。

(2) 個人の部

- ① 男女ダブルス
② 男女シングルス

6 【参加資格】

高知県高等学校体育大会一般要項に従う。

7 【参加制限】

- (1) 学校対抗の部は、男女とも各校代表1チーム。代表チームの人員は、男女とも監督1名、選手4名以上7名以内とする。ただし、審判要員として別に2名まで認める。
(2) 個人シングルの部は、男女とも各校8名以内とする。
(3) 個人ダブルスの部は、男女とも各校4組以内とする。
(4) 外国人留学生の参加については、全国高等学校体育連盟卓球専門部内規「(4) 外国籍選手の大会出場制限」による。

8 【申 込】

申込み手順は以下のとおりとする

- (1) 申込期限は令和7年4月30日（水）までとする。

- (2) 高体連HPまたは卓球専門部のHPに入る (<http://buden.pop.tc/>)。
- (3) 参加申込みを開き出場選手 (T, D, S) を決定する。
- (4) 申込書を印刷し送信、参加受付数を確認する。※入力後必ず確認する
- (5) 申込書に校長印を押印し体育主任に提出する。

9【表彰】

学校対抗、個人シングルス、個人ダブルスとも3位まで賞状を授与する。

10【連絡事項】

- (1) ベンチコーチは、所定の場所で行うことを認める。ただし、監督とアドバイザー男女各2名と当該高校部員（男女問わない）のみとする。監督は(公財)日本卓球協会発行の令和7年度役職者章を着用すること。
- (2) 参加者選手は、日本卓球協会および高知県卓球協会へ登録し、日本卓球協会が発行するゼッケンを着用すること。
- (3) 正規の休憩時間以外に試合を中断しないこと。
- (4) 試合球は(公財)日本卓球協会公認プラスチック球：40mm ホワイトとする。本部では「ニッタク 3 スタープレミアムクリーン」「タマス R40+」「VICTAS VP40+」を用意する。
- (5) 団体及びダブルスの服装は、同じユニフォームとする。(ユニフォームは、JTТАマーク入りが望ましい)
- (6) 申込書は顧問が作成すること。その際、申し込み人数の枠を越えないように注意すること。※申込書に抜かりがないか、各校複数の目で確認すること。
- (7) 第1日目は、ダブルスの8決定までと学校対抗の決勝までとする。
- (8) 第2日目は、ダブルス、シングルの決勝までとする。
- (9) シングルス、ダブルスにおける選手の変更は認めない。
- (10) 全国IH及び四国IHへの出場資格
 - ① 全国IH

団 体	男女とも1位
個 人	男女ともダブルスは2位、シングルスは3位（上位4名）まで
 - ② 四国IH

団 体	男女とも3位（上位4校）まで
個 人	男女ともダブルスはベスト8、シングルスはベスト16まで
- (11) シングルスベスト4の選手は、国体2次予選の出場資格を得る。
尚、国体2次予選へ出場する選手は、申込書に必ず「一次予選推薦」と明記すること。
- (12) 学校対抗の選手変更については以下の条件で認めることができる。
 - ① 病気等によりやむを得ない場合は、所定の用紙に学校長の押印のうえ必要事項を記入し、診断書を添え、当該大会監督会議までに競技運営委員長に届け出て、承認を得るものとする。
 - ② シングルス又はダブルスにエントリーされている選手を、新たに学校対抗のメンバーに加えることはできない。
- (13) その他、必要な事項は運営委員会が決定する。
- (14) 顧問会（監督会議）を第1日目8時20分より行う。
- (15) プログラムは上記HPからダウンロードし各校で準備すること。